

令和2年度 第2回あま市男女共同参画審議会議事録要旨

令和2年11月2日（月）

午後2時から午後3時まで

美和公民館会議室1、2

1 出席者等

出席者等	（委員）	6名
	（事務局）	7名
	（傍聴者）	0名

2 部長あいさつ要旨

国では、第5次の男女共同参画基本計画の策定に向けて、専門委員会において、検討が進められ、経済社会環境や国際状況の様々な変化を踏まえ、改定されている。本市もあま市男女共同参画プランが令和3年度で終了するため、新たに第2次プランを策定することに伴い、男女共同参画について市民意識調査を実施した。

本年度の男女共同参画の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、一部中止となった。

本日は、次年度の事業について御審議いただく。本市では男女共同参画事業の展開によって、少しでも多くの市民の皆様が男女共同参画への理解が深まっていくよう努力していく。皆様方のご尽力を引き続き賜りますようお願いしたい。

3 会長あいさつ要旨

微力ながら邁進していきたい。

4 議題

（1）職務代理者の指名について

○審議会規則に基づき会長が職務代理者に井村委員を指名。

（2）審議会等への女性の登用状況報告について

（事務局説明要旨）

◆資料1参照。地方自治法第180条の5に基づく委員会の女性の登用状況。

○教育委員会、昨年度と比較して女性委員の割合が、40%から33.3%へと0.7%の減少。

女性委員の人数に変わらないが、教育委員総数が1名多くなり、女性の割合が減少。

○その他の委員会の女性の割合、増減は無し。

○全体としては、0.5%の微減。

◆資料 2 参照。地方自治法第 202 条の 3 に基づく審議会の女性の登用状況。

○全体として女性委員の割合は、23.3%から24.7%となり、1.4%増。

○社会教育審議会、学校給食センター運営委員会、子ども・子育て会議、いじめ問題対策連絡協議会でそれぞれ女性委員が昨年度より 1 名増加。

○地域公共交通会議では、女性委員の人数に変動はなく、協議会全体の人数が 1 人減。

○防災会議と市町村国民保護協議会では、同じ委員構成で、協議会全体の人数が 3 人増加し、女性委員も 1 人ずつ増加。

◆資料 3 参照。市役所職員の女性管理職の状況。

○管理職総数は、88 名のうち女性管理職は 16 名。女性比率は 18.2%。

平成 31 年度と比較すると 1.9%の増。

○昨年度報告の市役所職員女性管理職の状況の一部訂正を報告。

(主な意見等)

○A 委員

資料 2 の審議会の登用率目標数値 30%、資料 3 の市役所職員の女性管理職の登用率目標数値は 20%で、目標値が 10%下に置かれたのは、何か理由があるか。

○事務局

審議会と委員会への女性の登用率を平成 33 年度までに 30%、一般行政職の女性管理職比率は 20%と言うような数値目標を 10 年前の男女共同参画プラン策定時に定めている。経緯については、確認の上、後日回答する。

○B 委員

資料 2 の女性管理職の状況に関連して、今の職員の男性と女性は何人ずつくらいいるのかは分かるか？

○事務局

確認して本審議会中に報告する。

(3) 次年度事業について

(事務局説明要旨)

○本年度、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から中止となった講演会を、オリンピックも来年に延期になったことを鑑み、来年度、本年度と同じスポーツ、女性活躍をテーマに開催予定。

○来年度は第 1 次男女共同参画プランが終了となるため、本年度策定される国の第 5 次男女共同参画基本計画に沿い、本年度実施しています市民意識調査の結果を踏まえ、現在の社会経済環境に応じた新たな第 2 次男女共同参画プランを策定する。審議会委員や市民の方の意見を踏まえ進める。

○その他の事業は、本年度が 4 回目となります女性活躍情報誌を始め、家事等実践講座、職員向け研修、交流会などを、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を加味した上で、開催していく予

定である。

◆資料4について

(事務局説明要旨)

昨年度の審議会で提案したあま市男女共同参画学習資料“知ろう、学ぼう男女共同参画”を現在作成中。本年度中にあま市の小学5年生全員に配布予定。意見があればお願いしたい。

(主な意見等)

○A 委員

小学校5年生を対象を絞った理由は。

○事務局

小学校5年生の学習指導要領に基づき、家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人との関わりを考える、実践的な態度を養うとした家庭科の授業が始まることから、小学5年生を対象とした。

○C 委員

5年生6年生一緒にやれないか。

○D 委員

5年生ではすごく難しいのでは。子どものイラストもあり、子ども受けするようにしてあると思うが、言葉で全部説明してあって、5年生で大丈夫なのか。

○事務局

初めて作成した学習資料として、今の御意見のとおり少し難しい面もあるかもしれません。学習資料として人権マンガのような形で、今後も続けていきたい。回を重ねるごとに、皆様の意見を参考に、より良いものしていきたい。

○会長

このような資料は、あま市だけではなく他の市町村、全国の小学校5年生が、こういうことを学んでいるのか。

○事務局

全国すべての市町村の5年生の人たちが学習しているということではございません。各市町村によって、学年、年齢層も違い、色んな形式のチラシやパンフレット等を啓発資料として作成・配布している。

○部長

市としては、人権を積極的に教育にも推進しているまちでもあり、学習資料を積極的に取り入れていきたい。今、ご指摘を頂戴した、もう少し小学生に分かりやすく、取組やすそうなイメージにするということでは、微調整は必要だと思うので、事務局には、その辺を踏まえ進めてもらいたい。

○B 委員

急に5年生になったから、いきなりこういう難しい話をするのではなく、わかりやすく低学年から行えば、5年生になって多少は理解できると思う。そこら辺も検討してもらえばと思う。

○事務局

大変参考になる。

○C 委員

男女共同参画の川柳は、どういう人が対象でしたか。その対象となった学年では、男女共同参画を少しずつ理解しているかもしれない。

○事務局

川柳は一般の部と学生の部を分けて、学生の部の中でも、中学生の部と小学生、なるべく色々な人の川柳が採用されるように調整をした。

川柳は5年間続けたので、昨年かたを集大成として作成した。広く公募し、啓発品を作成する良い事業だという評価もいただいたので、また、そのような事業を行いたいと考えている。

(4) その他について

○事務局

◆議題(2)で質問のあったあま市役所の正規職員の人数について

再任用職員を含まず、職員総数が548名、男性が291名、女性が257名。

女性の比率は、46.9%。

○会長

その他に御意見はあるか。

○C 委員

海部津島の人権擁護委員の協議会の中に男女共同参画委員会がある。その委員会でも我々のような70代くらいの高齢者は、男女共同参画をきちっととらえられていない。しかし、若い人世代は、男性が料理をするということも当たり前のことのように捉えると思う。理想的には小学校1年生から少しずつ、男女共同参画の考え方を浸透させれば、うんと進んだ男女共同参画の考え方が醸成される。やっぱり小さい時からの教育が必要と思う。

○D 委員

気付かせるという機会を持たせることが大切。例えば、保育園の卒園式で男女が分かれるが、何で男の子が先で女の子が後だというようなこと。小さい時にはそんな性差は関係ないのではと思う。今回の学習資料は、5年生の子には難しいと思うが、川柳にもあったがお父さんとお母さんが助け合ってやっていることが、男女共同参画なんだということを徐々に気付かせることをやれたらと思う。

○E 委員

今の若い世代は、ジェンダーとかに敏感で、浸透していると思う。採用時に男女がほぼ半々ののに、管理職になってくると減少するのは、出産等で仕事を辞めてしまうことがある。家庭内の問題もあるが、組織の上の方の理解があれば、女性管理職も増加するのではないかと思う。

○会長

コロナ禍で、ステイホームと言われ、長いおうち時間の中で家庭生活が見直され、新しい発見が

あったと思う。お父さん、お母さん、子どもたちも含めて、一緒に料理をしたりする時間、コロナ禍だからこそできた時間も男女共同参画の一つだと捉える。一つ一つの小さなことが繋がっていけばどんどん良くなっていく。私はそれを一筋の光として感じている。

○事務局

来年度は、第1次あま市男女共同参画プランが終了し、新たに第2次のプランを策定するにあたり、本審議会を年に4回開催する予定。